

良い林をつくるために

積雪が3mをこえる豪雪地帯にも、立派な林が数多くみられます。

私達は、これらの林の成立経過を探り、一方では、幼令期からの追跡によって、効果的な、森林造成の技術を研究しています。

研究のテーマは、大別すると、①雪害の軽減技術、②根元曲り、幹曲りなどの形質の改良、③保育作業の省力化にわけられます。

これらは相互に関連した問題でもあり、最終的には、一連の技術として、体系をつけていくことが必要になります。雪と材木のたたかいは長期間にわたりますが、より早く、目標に到達すべく努力したいと考えます。

▼豪雪地における優良林分（山形）

